

平成26年度第1回南砺市農業農村整備環境(田園環境プラン)検討委員会会議録

(1) 日時

平成26年10月20日(月) 14:00 ~ 15:30

(2) 場所

南砺市城端庁舎2階 203会議室

(3) 第1回検討委員会レジュメ

平成26年度第1回南砺市農業農村整備環境(田園環境プラン)検討委員会

日時 平成26年10月20日(月) 午後2時

場所 南砺市城端庁舎2階 203会議室

1 開会

2 あいさつ

南砺市 農政課長

3 委員の紹介(P1)

4 環境に配慮した農業農村整備事業について(P2~P4)

【富山県砺波農林振興センター】

5 設置要領について(P5~P6)

6 委員長の互選並びに職務代理者の指名について

7 「南砺市田園環境プラン」について(別紙)

【南砺市】

8 協議事項

1) 「南砺市田園環境プラン」の見直しについて(別紙)

【南砺市】

2) 平成27年度新規事業地区の説明について

① 水利施設整備事業<基幹水利施設保全型> 小矢部川3期地区(P7~P9)A-8

【富山県砺波農林振興センター】

② 団体営基盤整備促進事業 千福用水地区(P10~P14)B-3

【城端土地改良区】

③ 団体営基盤整備促進事業 泉沢東部地区(P15~P19)B-4

【城端土地改良区】

9 閉会

(4) 第1回検討委員会出席者等

平成26年度 南砺市農業農村整備環境(田園環境プラン)検討委員会 委員名簿

	氏名	所属・役職	号	備考	出欠
1	庵 昭義	南砺市農業委員会会長	1	新	出
2	高口 宗範	園芸植物園長	1	再	出
3	小原 耕造	富山県自然保護協会理事	2	再	出
4	千秋 謙治	南砺市文化財保護審議会会長	2	再	出
5	松本 久介	大鋸屋地区自治振興会長	3	新	出
6	勇崎 晃	南山田地区自治振興会長	3	新	出
7	近川 良男	城端土地改良区事務局長	5	新	出
8	堀 和男	小矢部川上流用水土地改良区事務局長	5	再	代理
9	稲垣 貢	砺波農林振興センター企画振興課長	6	再	欠
10	山森 主税	砺波農林振興センター指導課長	6	再	出
11	桃井 計一	砺波農林振興センター農村整備課長	6	新	出
12	原田 司	南砺市産業経済部長	7	再	出
13	木戸 耕作	公募委員	4	再	出
事務局	芝井 広	南砺市産業経済部農政課長			出
事務局	平 昌広	南砺市産業経済部農政課農地整備係長			出
事務局	大西 雄介	南砺市産業経済部農政課農地整備係主事			出

※傍聴者 0名

(5) 第1回検討委員会議事録

議事録

日時 : 平成 26 年 10 月 20 日 (月) 14:00 ~ 15:30	
場所 : 南砺市城端庁舎 203会議室	
事務局B	<ul style="list-style-type: none">・開会宣言・司会挨拶
事務局A	<p>・これまでの委員会では、旧町村毎の「田園環境整備マスタープラン」を活用しておりましたが、昨年度南砺市として総合的・一体的な「南砺市田園環境プラン」を策定しました。今年度につきましては、このプランを活用しまして、来年度以降に実施予定の事業内容について検討して頂きたいと思います。協議事項においては、概ね2つのことがあります。昨年策定しました「南砺市田園環境プラン」の一部見直しと来年度新規で実施される農業農村整備事業が環境に配慮されているか検討・協議して頂きたいと思います。委員の皆様には、幅広い意見をいただきたいと思いますので、よろしく申し上げます。</p>
事務局B	<ul style="list-style-type: none">・委員の紹介 (1 ページ)
富山県A	<ul style="list-style-type: none">・環境に配慮した農業農村整備事業について説明 (2 ページから 4 ページ)
事務局B	<ul style="list-style-type: none">・設置要領について説明 (5 ページから 6 ページ)
事務局B	<ul style="list-style-type: none">・委員長の互選について、事務局案より推薦し、満場一致の拍手
委員長	<ul style="list-style-type: none">・委員長挨拶・職務代理者について、委員長より指名
事務局A	<ul style="list-style-type: none">・「南砺市田園環境プラン」について説明 (別紙)
事務局B	<ul style="list-style-type: none">・協議事項に進むにあたり、司会を委員長と交代
委員長	<ul style="list-style-type: none">・では、協議事項1番の「南砺市田園環境プラン」の見直しについて説明をお願いします。
事務局C	<ul style="list-style-type: none">・1) 「南砺市田園環境プラン」の見直しについて説明 (別紙)
委員長	<p>・このプランは1年後毎に見直しをする必要がありますので、よろしく申し上げます。平成27年度新規事業の個別計画については、次の協議事項になりますが、このプランの42ページにA-8, B-3, B-4として、盛り込んであります。A-10については、富山県から先程説明して頂いたように、平成27年度計画にたいして補正などあった場合、追加事業として持ち回りで対応することとなります。では、このプランの見直しについて、ご意見を申し上げます。</p>

委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・ご意見がないようなので、このプランのとおりご了承頂いたこととします。では、協議事項 2 番の平成 27 年度新規事業地区の説明について、進めさせていただきます。まず、一番の水利施設整備事業基幹水利施設保全型小矢部川 3 期地区について説明をお願いします。
富山県B	<ul style="list-style-type: none"> ・2)①水利施設整備事業<<基幹水利施設保全型>>小矢部川 3 期地区について説明（7 ページから 9 ページ）
委員I	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業は県営の土地改良事業に位置づけられているため、この委員会で検討して頂く必要があります。しかし、事業内容が電子機器類の部品交換となっているため、環境に配慮することについて議論する性格の事業ではないのですが、この委員会におはかりして、委員の皆様にご了承頂かなければならないことをご理解頂きたいと思っております。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・第 1、2、3 頭首工がありますが、1、2 は補修しますが、3 はなぜ補修しないのでしょうか。
富山県B	<ul style="list-style-type: none"> ・第 3 頭首工は、平成 8 年度に補修されておりまして、まだ新しい施設となっているからです。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・この事業は、直接環境に配慮したことについて関係はないのですが、よりいいシステムにして頂くことで、より適切な水のコントロールをすることができるようになり、環境への調和につながるのではないかと思います。
委員I	<ul style="list-style-type: none"> ・機械の部品を更新することによって、最新の節電型になるもので、広い意味で環境への配慮につながるのではないかと思います。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に意見はございますか。
委員D	<ul style="list-style-type: none"> ・このシステムは、老朽化してトラブルが起きているため、是非更新して頂きたいと思えます。とくに、第 1 頭首工、第 2 頭首工が大事となっております。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・刀利ダムに近いからでしょうか。
委員D	<ul style="list-style-type: none"> ・そのとおりです。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・このシステムの耐用年数は 20 年でしょうか。
富山県A	<ul style="list-style-type: none"> ・15 年から 20 年となっております。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・他に意見はございますか。では、計画どおり事業を行って頂くということで次に進めさせていただきます。2 番の団体営基盤整備促進事業千福用水地区について説明をお願いします。
委員F	<ul style="list-style-type: none"> ・2)②団体営基盤整備促進事業千福用水地区について説明（10 ページから 14 ページ）

委員長	・延長は260mとなっておりますが、よどみは何箇所作られますか。
委員F	・1箇所作る予定であり、延長は10m～15m程となります。この水路の下流には、2、3年前よどみを設置しており、しじみが生息していると聞いております。
委員長	・用水法面を、土羽構造とすると記載されているが、用水法面とはどの部分ですか。
委員F	・用水路の横の部分であります。
委員長	・用水路の改修とよどみを作る事業であり、生き物調査もして頂いておりますが、何か意見はございますか。
委員B	・しじみの話がありましたが、タイワンシジミが小矢部川水系全体に生息しているので、よどみを作ってもあまり価値がないかもしれません。
委員長	・タイワンシジミは外来種ですか。
委員B	・外来種です。
委員長	・他にご意見はございますか。では、この事業についても、計画どおり事業を行って頂くということで次に進めさせて頂きたいと思います。最後に、3番の団体営基盤整備促進事業泉沢東部地区について説明をお願いします。
委員F	・2)③団体営基盤整備促進事業泉沢東部地区について説明（15ページから19ページ）
委員長	・ベンチフリュームはJBF600と記載されているが、規格はどのようになっていますか。
委員F	・幅が600mmで高さが400mm程です。
委員長	・高さは600mmではないのですね。
委員F	・幅・高さが600mmのベンチフリュームもあるが、ここでは高さが400mm程のベンチフリュームを使用します。
委員長	・先程の千福用水の幅は広がっていますが、泉沢東部の水路は幅が600mmで高さが400mmであり、スロープを設置するようです。何か意見はございますか。
委員D	・打尾地区からスーパー農道までは中山間事業で全部用水改修しているのですが、スーパー農道から泉沢地区までは中山間地域ではなく、補助率が低いため、全く用水改修をしていません。今回の事業で、用水を改修して頂けることは、大変嬉しいのですが、この水路は水の勢いがあるところで、水が溢れて田んぼに入ることがしばしばある水路なので、本当にカエルが住めますか。
委員I	・勾配で言ったら、どれくらいの水路ですか。

委員F	・傾斜度でいうと100分の1程の水路であります。
委員D	・この水路は急であり、スーパー農道から泉沢にかけては非常に急な水路となっており、その程度の傾斜度ではないと思います。
委員I	・そうすると、勾配で言うと、70～80分の1の水路であり、70mから80mいくと1m下がる水路となりますね。
委員D	・生き物が生息できるような水路ではなく、非常に流れが強いです。
委員I	・19ページのイメージ図でいうと、川はどちらから流れていますか。スロープをつける時は、川の流れに対してどの向きでつけることになっていますか。
委員F	・左から流れております。
委員B	・スロープは、環境への配慮に効果が少ないかもしれないが、ないよりはいいと思う。14ページに記載されている生き物は生息していますか。
委員F	・南砺市田園環境プランに掲載されている生き物を記載しており、この水路に生息している生き物を記載しているわけではないです。
委員長	・スロープ水路は、県内に施工例はありますか。
委員I	・あります。しかし、このような急流な水路につけても、効果はあるのか疑問であります。水の流れが急すぎて、横に寄ることができず、そのまま流れてしまうかもしれません。
委員長	・そんなに急流なのですか。
事務局A	・小さい子供が落ちても流されるほど、流れに勢いがあります。
委員I	・提案なのですが、スロープが設置される場所は、水路の幅をより広げて、水の流れを緩くするとよいと思います。
委員A	・千福用水地区の水路なのですが、延長260mとなっておりますが、3年かかるのでしょうか。
委員F	・施工が困難な場所となっております。道の横であれば、スムーズに工事が進むのですが、水路の横が崖となっているため、施工に時間がかかると見込んでおります。
事務局A	・山田川の崖の真ん中に水路がありまして、工事機械が入りにくいところとなっております。
委員長	・他に意見はございませんか。

委員J	<ul style="list-style-type: none"> ・その他に記載されている環境保全活動の啓蒙を図るということは、どのようなことをされますか。
委員F	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した事例をPRすることです。
委員I	<ul style="list-style-type: none"> ・富山県では、毎年子供たちと生き物調べを行っておりまして、そのような場でPRできればよいかと思えます。
富山県C	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちを対象として毎年1回行っている生き物調べや土地改良区で作成している広報誌でのPRの方法があります。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・土地改良区等だけでなく、多目的機能支払交付金なども使って全体でスロープ水路といったものを周知できればよいかと思えます。他に意見はございますか。
委員I	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生を対象に生き物調査を行ったことがあるのですが、今の子供たちは川に入ったことがなく、いろんな生き物がいて感動したという経験があるので、このようなことから環境の大切さを学ぶことなど大事になってくることと思えます。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設を整備をすることもいいのですが、PRとして、全体の環境意識にも目を向けながら事業を進めていかなければならないと思えます。また、この事業につきまして、スロープ水路については、現場で幅や傾斜とか適切にみて、計画どおり進めさせて頂くこととします。あと、柴田屋・上津の事業はどのような対応となるか確認させて頂けますか。
委員I	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度の新規事業として、補正予算が確定すれば、持ち回りで委員の皆様の説明させて頂きます。
委員長	<ul style="list-style-type: none"> ・以上で、協議事項につきましては、終了させて頂きます。これで議長の責めを終えさせて頂きます。
事務局B	<ul style="list-style-type: none"> ・閉会宣言